

農は命の源 ともに農業再生を

地域農業再生と食の安全を考えるつどい開く



「農は命のみなもと」とパネラーを囲み語り合う参加者（写真：滋賀民報社提供）

もうお済みでしょうか？

自由意見特集その5

(8月1日ま

住民アンケート 第5次中間集計

拠点施設の建設について

建設を先行すべき	28
建設は先行すべきでない	311
どちらとも言えない	47
無記入	13
合計	399通(8月1日現在)

での回収分も自由意見が多いため、未掲載の方もあります。順次掲載します。お待ちください。句読点、接続詞などは編集者で修正しました。

建設は先行すべき

低迷する米価を初め農業を続けて行こうとする住民が少なくなってきた。現状から、農業の町として、もっと魅力あるものとするためにも、自分が作って自分が値段を付け、売れたときの楽しみ等々必要ではないかと思えます。そのために、直売所は必要だと思えます。現在の直売所も6月から4日間となつたが出品数は今までと変わらず、

7月19日党甲良町支部が主催し、町内で「地域農業再生と食の安全を考えるつどい」を開き、専業農家や主婦、町幹部職員ら22人が参加し、全員が意見や感想、質問を交え話し合いました。

同党湖北地区副委員長で稲枝・海瀬町営農組合長も務める山内善男さんが「農業再生プラン」(本年3月発表)を報告。山内さんは、現在の自給率39%をまず50%に引き上げ、日本国民の食糧は日本の大地から」を

毎日多く出されておりますが、建物が狭く、機能的にも今ひとつの所があります。

都市住民との交流を図ることも必要かと思われるので、貸し農園事業等々考えられると思えます(70代)

何でも反対するだけでは町は良くなるらない。共産党の考えに町民を引っぱり込まないで！少し、これからの事を考えたらどうだ。あんまり部落差別をしないほうがいいのでは(60代)

町が計画していることは前向きに進み「甲良ふるさと交流村」が良くなる様に実施すべきであると思えます(60代)

建設は先行すべきでない

町民のため、建設費用などのお金は介護費用に回すように(80代)

福祉予算にもっと税金をまわすべき(80代)

町長は、建設先行のみで町としての農業の特産品をまず確立すべき。町の赤字は目に見えている。町長のリーダーシップなし。農

実現するための「4つの提言」を説明。これらを実現するため、農業者と消費者の共同をよびかけました。

愛東マーガレットステーション直売所運営委員会副委員長の野村秀一郎さんはマーガレットステーションの開設に至るまでの地域農業支援策などを紹介。旧愛東町の支援で昭和41年には秋冬白菜の産地指定、同48年には葡萄園地の造成にかかり、56年にはナシ団地の造成、メロン栽培の技術習得の苦労や京都市場に半値で入る宮崎県産メロンに対抗するためテント販売でコスト軽減し、好評を得たことなどを報告。野村さんは「農家が規模の大小にかかわらず、いがみあわないことが大事」と強調。

参加者からは農業をめぐる苦境の中、漁業者の20万隻のいっせい休漁にふれ、百姓一揆を起こして農家を守らんとアカン」などの意見がでました。「安心できる地産地消の取り組みをさらにすすめるため学校給食で、もっと地元産の使用を増やしたい」などの意見、

「共産党の打ち出した1億1万8千円は切実。ぜひ頼みたい」などの期待の声も出され、「農は命の源」であることを確かめ合う「つどい」となりました。

なお、開会あいさつを西澤議員が行ない、松元たけしさんが、「有意義な話し合いとなりありがとうございました」と閉会あいさつしました。「滋賀民報」記事を部分引用しています。

甲良民報

2008年8月3日 390号
発行責任：日本共産党甲良町支部
代表：西澤伸明 甲良町在土463
Tel.Fax38-4949

あなたの「意見」「感想」お聞かせください ひとりひとりの声こそ政治を動かす力です

産物をまず近隣市町に浸透してからこれでいけるといふときに建設の話が出るくらいしておいて充分。まずは甲良独自の農産物、有機野菜、くだもの確立、何をしても食の安全、また循環型社会の確立が大切。建物はそのあと。

計画の内容のレベルが低すぎる。共産党がんばって下さい。(他にプライベートな批判があり、割愛しました。= 编者)(40代)

選出委員がもっとしっかりと判断し決定してほしい。議員ももっとしっかりとしてほしい。マーガレットステーションのようにいくはずがない。計画倒れするのではないか。(50代)

特定の人達の利益でしかない。税金の無駄使いである。

一般町民が知りえない事をこの広報で教えていただきありがたい。町政の悪を暴いてほしい。今後の西澤議員の活躍を期待します。(60代)

滋賀県にこのような施設が何ヶ所あるか知りませんが、黒字経営施設は2ヶ所と聞いている。その他はすべて赤字経営であり、町民の負担が増大することが目に見えている。特産品のない甲良町でこれから特産品を作ることが困難であり今からでは遅い。

町長の思いつきの政策では町民が困る。(50代)

最初のうちは黒字であつても、4〜5年もたてば、下降の一途をたどると思う。愛東マーガレットが得意、野菜コーナーで持っているという事を耳にする。ウイークデーなどガラガラ、さみしいもの。現在の特産品は何か。今やっている農産物販売の営業内容はどのようなのか。

赤字になって、市町村税に負担がのしかかってくるのはたまりません。これ以上、それよりも、未納の税金や不払いになっている借入金の返済をしてもらわないと!! 経営の

ことをもっと詳細に、もっと重要視してほしい。親方、日の丸の頭では町民が困るだけ。夕張市の様なことになりかねない。

甲良町民だけのシェアでは持っていない。はたして彦根市民が甲良まで買いに来るだろうか。あつちこつちに農産物の販売所はできているからな。とはいっても、土地など購入されてしまっている。栗東市だって新幹線駅問題もオジャンになったし、中止できないことはない。もっと他に工場などに来て欲しい。(60代)

7億4千万円のハコ物を賛成している町長と町会議員に連帯保証人とする事。そして責任を持つ事。町政に赤字をふやさないと。生活が厳しい時によく考えてほしい。(40代)

もっと他にしなければならぬことがあるべきでは?(20代)
建設の先行には反対(60代)
箱物を建設するよりもまずは甲良にしかないという特産品を作る研究努力が必要であると思います。(70代)

一部の者の野心としか思えない。7億4千万円もつたいない!!(80代)

新栗東駅みたいになる(40代)
建物施設の維持管理・修理の費用など20年30年後の事を考えるなど子や孫の世代に大きな負担を強いることになるのではと不安になる。今の状況では、この事業が地域振興につながることは信じ難い。中途半端で終わるなら実施しないで欲しい。町民に平等に喜んでもらえる税金の使い方を知恵をしばっていただきたい。

今頃どうしてと思う。特産品が簡単に作り出せるのか、また後継者が育つのか、疑問である。【ベランダで野菜を育てたり、家庭菜園を始める人も増加している今、車でワザワザ買いに来るのか。来てもらえる程の特産品ができるのか。全国に800以上の道の駅

や特産品販売所があるが、一部を除いて経営状況が大変な状態にあるとの事。時代の流れに逆行するのではないか。】(50代)

読者のみなさんへ

お願い

ご家族、お知り合いの方に「アンケートもう出したか」と声をかけていただき、まだでしたら、早く提出されるようお願いいたします。



お急ぎください

回収期限 8月15日まで。

回収ポスト

- ・Kモール(マルゼン)さん
- ・サンショップミタさん(長寺西)
- ・いずみフードさん(下之郷)
- ・八百政さん(尼子)・山田電気さん(高宮町)・松元銈さん(池寺)・北川仁志さん(長寺東)・小川光治さん(長寺西)・西澤伸明(在士)

日本共産党の見解を紹介します

のぶあき Eメール info@jcp-nobuaki.com ホーム <http://www.jcp-nobuaki.com/>

バックスさん

マルゼンさんに入り、すぐ右手壁側に赤い回収ポストがあります

マルゼンさん

ユタカさん